

高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

科目 音楽Ⅰ の目標：

[illegible]

雪谷 高等学校 令和6年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術Ⅰ

单位数： 2 单位

教科担当者：（1組～7組：石本）

)

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】芸術的知識を活用し、事象を自身の感覚に基づいて捉え、事象の本質を認識し考察する力、様々な表現技法を用いて自己を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自己表現の重要性を認識し積極的に制作に取り組もうとする態度、作品を通じ考察を深めたり、改善したりしようとする態度や創造性を養う。

の目標：

[illegible]

雪谷 高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教 科： 芸術 科 目： 書道Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 2 組～ 7 組

教科担当者：（2 組：青木豊）（3 組：熊谷倫子）（4 組：青木豊）（5 組：青木豊）（6 組：熊谷倫子）（7 組：青木豊）

使用教科書：（光村図書 書Ⅰ）

教科 芸術 の目標：
【知識及び技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】古典・古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。
【学びに向かう力、人間性等】漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 〔表現〕古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	〔表現〕古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 〔鑑賞〕古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	〔表現〕主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 〔鑑賞〕主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮					
1 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 〔楷書〕 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書Ⅰ				【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 〔評価方法〕 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	22
2 学 期	○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化につ	・指導事項 〔行書〕 蘭亭序 争座位文稿 蜀素帖 風信帖 〔草書〕 真草千字文 〔隸書〕 ・指導事項 仮名の成立と種類についての説明。時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。 平仮名・変体仮名の指導。		○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線	○	○	○	20
					○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能	○	○	○	10

3 学 期	○単元 仮名の書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 蓬莱切 高野切第三種 継色紙 上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。 〔創作〕 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化する。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書Ⅰ	○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価方法】 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	14
	○単元 漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。 〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。 創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。 心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。 作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。	○	○	【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解している。 ・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価方法】 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	4 合 計 70